

第4回 安全表示・人づくりコンテスト 優秀賞

受賞作



Before

構内表示物の「目で見てわかる化・安全の見える化」を進めていたが、構内に多数置いてあるコーンについては統一されておらず、明確な表示ルールがないため以下のような問題点があった。

- コーンの色と表示方法がバラバラ
- 既製品のため、古くても更新できない
- 文字だけの表示のため、一目で理解できない



After

目的別にコーンの色と文字を「禁止・注意・表示」に区分し、ピクトサインを利用するためのサイントップを併用した。ただ置いてあるだけのコーンから安全意識高揚・目的の明確化につながるコーンとなった。コーンと構内表示物の統一感も生まれ、コーンの表示改善によりヒヤリハットの減少にもつながっている。

安全表示で 人づくり

ビーポップを活用した安全活動事例

第17回

日本パーカライジング株式会社(関西工場)

会社概要

●本社所在地: 東京都中央区 関西工場所在地: 滋賀県東近江市 ●設立: 1928年7月 ●従業員数: 932名(2021年3月現在) ●主な事業内容: 表面処理剤の開発・製造・販売、受託加工、装置の製造・販売など

思いを込めた安全表示を見れば 心はひとつに通じていく

日本パーカライジング(株)は、工業製品や家庭用品に使用される金属を、錆や摩耗などから守ることを目的とした表面処理剤、表面改質技術を提供し続けてきた工業用化学薬品のメーカーです。身近なところでは、自動車の塗装用下地における表面処理の世界シェアが70%に達しているそうです。近年では、対象を金属以外へ広げ、機能も多角化し、さらにはグローバル化も果たすなど幅広い事業を展開しています。

そんな同社最大の生産拠点である関西工場では、RMSの推進、小集団活動、工場内報告会の開催を3つの柱とした安全活動を行っています。

中でも安全表示は、同工場が中心となつて統一ルールを策定し国内全製造工場に横展開したそうです。そこで、工場長の太田京一さん、マネージャーの松尾一幸さん、アソシエイトマネージャーの黒崎裕さんと高橋純一さんに、同工場の安全への取り組みやビーポップによる安全表示の意義についてお話を伺いました。

自主的に継続して取り組めるよう 3つの安全活動に集約

同社が国内の製造部門の体質強化・現場力向上を目的として全工場で導入しているのがRMS活動です。これは、「作業に潜むリスクを自分たちで発見し、自分たちでなくすこと」をテーマに係単位で取り組む作業環境や危険作業の改善活動で、月2回以上の実施を目標に取り

組みます。次に、係間で協力して行うのが小集団活動です。係がお互いに側面支援するイメージの活動だといえます。そして年2回、各係の代表者がこれらの活動の成果を発表するのが工場内報告会です。他の係の良い取り組みを知り安全に対するスキルを高め、さらなる改善活動につなげていくのが目的です。

こうした活動について松尾さんは、「この3つに集約しているのは、職場で自主的・積極的に行ってほしいことと、安全活動に対するモチベーションを損なわないように、できるだけ負荷をかけず継続することで安全意識を高めてほしいからです」と、その意義を語ります。

安全表示のルールを統一 マニュアルを作成し全社展開へ

同工場ではビーポップを導入してしばらくは、各係の担当者がそれぞれの考えで安全表示を作成していたため、デザインや書体などがバラバラだったそうです。そこで、マックスの担当者に工場内を見せ、安全表示についてアドバイスを求めたのが黒崎さんです。

「約3年前に安全表示の統一ルールとマニュアルを策定しました。なるべく色やマークを使ってひと目でわかるようにルールを決めて、運用を始めた」と黒崎さん。この活動を工場内報告会で発表したところ、本社製造部の目にとまり、全製造工場での展開へと拡大してきました。



「工場ではさまざまな人が働いていて、外から来られる方も多様です。当工場には外国人従業員もいるので、言葉で伝えるだけでは、安全を教育しきれないことがあります。それを伝えられるのが安全表示ですね」と高橋さんは安全表示の意義について語ります。

また、太田工場長は、「ビーポップを活用し見える化したことで、従業員の安全に対する意識をより向上できていると感じています。今後も安全第一で無災害職場を維持・継続していくために、他社の表示物も参考にしてアイデアを出し合い安全表示を作成し、当工場内の安全整備を実施していきたい」と前向きに語ってくださいました。



関西工場の皆さん

※撮影のために十分な感染症対策を行った上で一時的にマスクを外していただきました

※1 世界における日系自動車メーカーのマーケットシェア70%：同社HPより ※2 RMS：リスク・マネジメント・システム(Risk Management System)の略

お問い合わせ

マックス株式会社

オフィスプロダクツ営業部

安全表示・人づくりコンテスト事務局

人づくりコンテスト

検索

TEL:03-3669-8108(代) Mail:anzen@max-ltd.co.jp